CASBEE 京都-新築

評 価 ソ フト(標準システム)

バージョン CASBEE京都-新築2018(v.1.0) ■使用評価マニュアル: CASBEE-京都-建築(新築)2018年版

1)概要入力				
① 建物概要				
■ 建物名称	(仮称)下松屋町共			
■ 建設地・地域区分	2 720_6 720_7 720_	<u> 0720-0 古籾広古</u> 初 0720-0 古籾広古初	古山古区共町名	6地域
■ 地域・地区	市街化区域、準防り	火地域		
■ 竣工年(予定/竣工)	2022年8月			竣工
■ 敷地面積	606.78	m ²	·	
■ 建築面積	394.35	m ^²		
■ 延床面積	3,478.81	m [*]		
■ 建物用途名	共同住宅			
	集合住宅,			
■ 階数	地上11F			
■ 構造	RC造			
■ 平均居住人員	125	人(想定値)		
■ 年間使用時間	8,760	時間/年(想定値)		
② 評価の実施				
■ 評価の実施	2021年2月1日		実施設計段階	
■ 作成者	金高 智義			
■ 確認日	2021年2月1日			
■ 確認者	金高 智義			
■LCCO2の計算	標準計算	→LCC02算定条件シート((標準計算)を入力	

2) 個別用途入力 ①用途別延床面積 0.00 m² m² 事務所 事務所 m² 官公庁 学校 0.00 m² 幼稚園•保育園 m 小•中学校 m² m² 小・中学校(北海道以外) m² 高校 大学•専門学校 m² 物販店 0.00 ㎡ デパート・スーパー m m² その他物販 飲食店 m² 0.00 m² 劇場・ホール m 集会所 m² 展示施設 スポーツ施設 m² 工場 m[®] うち省エネ計画対象面積 m² 病院 m² ホテル m 非住宅 小計 0.00 m² 集合住宅 3,478.81 m² 専用部 2611.44 m² 共用部 867.37 m² ② 住居・宿泊部分の比率 ■病院の延床面積のうち、病室部分の床面積の比率 ■ホテルの延床面積のうち、宿泊部分の床面積の比率 ■集合住宅の延床面積のうち、住戸部分の床面積の比率 0.75

3CASBEEkyoto-NC_2018 結果

【∧SBEE[®]京都-新築

標準システム

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-京都-建築(新築)2018年版 | 使用評価ソフト: CASBEE京都-新築2018 (v.1.0)



- ■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
- Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率) ■「ライフサイクルCO。」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと ■評価対象のライフサイクルCO。排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

		CASBEE京都-新築 7	独自システム2	018(v.1.0)			
建物名称	(仮称)下松屋町共同住	之新築工車					
延床面積	3.478.81 m ²	U# #	BEE	1.3	B+	*7	**
用途	共同住宅		使用CA	SBEE評価マニュ	CASBEE-京都	- 『-建築(新築)20	18年版
	集合住宅,		使用CA	SBEE評価ソフト	CASBEE京都	−新築2018(v.1.0	0)
2 重点項目	目への取組度						
キーワード			取組度			1 .	
1 大	:切に使う		RYO	roy Poyoroy	po you kyoro?	DO YOU KYOTO?	
2 L	もに住まう						
2 2	してはまり		i i	kirotor	1		
3 自	然からつくる		ROY KYO	KO LOS	PO YOU RYOTO!		
	D配慮事項とCASBEEのスコア						
1 大切に仮 ■長寿命						<u>合計点</u> 合計点	29 /41 14 /20
◇メンテナ	ンスの容易性		◇物理的長寿命			日日本	720
	1 空調配管の更新性 2 給排水管の更新性	スコア 3 スコア 3		<u>本材料の耐用年</u> を軽減する対策:		建物の長寿化を図	スコア 5 っている。
Q2/ 3.3.3	3 電気配線の更新性	スコア 3				,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	
	4 通信配線の更新性 5 設備機器の更新性	スコア 3 スコア 3	◇社会的長寿命 Q2/ 1.1.3 バリ	ノアフリー計画			スコア 3
構造部材を	(注 上記5項目のスコアの平均 痛めることなく更新・修繕ができるようになって			間の形状・自由さ シニングの自由	度がある。		スコア 3
		_	l			Astr	14 /00
■省資源 LR2/ 2.1	N 対料使用量の削減					合計点	14 /20 スコア 2
	躯体材料におけるリサイクル材の使用 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用						スコア 3 スコア 5
LR2/ 2.6	部材の再利用可能性向上への取組	77.5.4.4.7.4					スコア 4
	↓外においてリサイクル材を使用しており、環境 .げ材は容易に分別可能であり、解体時におけ		が取られている。				
◆独自加 I P2 / 2.1	1点項目 材料使用量の削減	主要構造部が木造躯体である場	今 の「は建可能かあ	せかこ恋出された士	tt 太徳田 アセリ >	合計点	1 /1 ている。 対象外
LR2/ 2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	主要構造部に使用した「持約	続可能な森林から	産出された木材	のうち, 地域産木		対象外
LR2/ 2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	持続可能な森林から産出	された木材」のうち	、地域産木材を	更用している。		0
						ᄉᆗᅡ	04 /40
2 ともに住		A = 1 = -		- 12 - 1- 5		合計点	21 /42
■自然と	ともに住まう	合計点 8 /15	■地域ととも		E 成	合計点	9 /15
■自然と ◇自然を Q2/ 1.2.	ともに住まう じられる計画 1 広さ感・景観	スコア 3	◇地域環境やコ Q3/ 3.1 地域	ミュニティーへの 性への配慮、快	適性の向上		9 /15 スコア 3
■自然と ◇自然を載 Q2/ 1.2.1 Q3/ 1 生 Q3/ 3.2	ともに住まう ぴられる計画 I 広さ感・景観 主物環境の保全と創出 敷地内温熱環境の向上	スコア 3 スコア 3 スコア 2	◇地域環境やコ Q3/ 3.1 地域 LR3/ 2.2 温素 LR3/ 3.3.2 昼	ミュニティーへの 性への配慮、快 熱環境悪化の改善 光の建物外壁に	適性の向上 ∮ よる反射光(グレ	合計点 ア)への対策	9 /15 X=7 3 X=7 3 X=7 3
■自然と ◆自然を認 Q2/ 1.2. Q3/ 1 <u>4</u> Q3/ 3.2 住居の天井	ともに住まう じられる計画 1 広さ感・景観 主物環境の保全と創出 敷地内温熱環境の向上 丰高を2.3m以上確保しており、ゆとりある空間を	スコア 3 スコア 3 スコア 2	◇地域環境やコ Q3/ 3.1 地域 LR3/ 2.2 温素 LR3/ 3.3.2 昼	ミュニティーへの 性への配慮、快き 快環境悪化の改き 光の建物外壁に 等を通しての熱持	適性の向上 ∮ よる反射光(グレ	合計点 ア)への対策 調和機器等のエネ	9 /15 スコア 3 スコア 3 スコア 3 ハコア 3 ルギーの効率的
■自然と ◇自然を Q2/ 1.2. Q3/ 1 ½ Q3/ 3.2 住居の天邦	ともに住まう じられる計画 に 広さ感・景観 生物環境の保全と創出 敷地内温熱環境の向上 +高を2.3m以上確保しており、ゆとりある空間を ともに住まう	スコア 3 スコア 3 スコア 2	◇地域環境やコ Q3/3.1 地域 LR3/2.2 温素 LR3/3.3.2 昼 建築物の外壁窓	ミュニティーへの 性への配慮、快き 快環境悪化の改き 光の建物外壁に 等を通しての熱持	適性の向上 ∮ よる反射光(グレ	合計点 ア)への対策	9 /15 スコア 3 スコア 3 スコア 3 ハコア 3 ルギーの効率的
■自然と ◆自然を Q2/ 1.2. Q3/ 1 2 Q3/ 3.2 住居の天井 ■歴史と ◆歴史性へ Q2/ 1.2.3	ともに住まう じられる計画 は 広さ感・景観 上物環境の保全と創出 敷地内温熱環境の向上 - 声を2.3m以上確保しており、ゆとりある空間を ともに住まう の配慮 3 内装計画	スコア 3 スコア 3 スコア 2	◇地域環境やコ Q3/3.1 地域 LR3/2.2 温素 LR3/3.3.2 昼 建築物の外壁窓	ミュニティーへの 性への配慮、快き 快環境悪化の改き 光の建物外壁に 等を通しての熱持	適性の向上 ∮ よる反射光(グレ	合計点 ア)への対策 調和機器等のエネ	9 /15 スコア 3 スコア 3 スコア 3 ルギーの効率的 4 /10 スコア 1
■自然と ◇自然を超 Q2/ 1.2: Q3/ 1.2: Q3/ 3.2 住居の天井 ■歴史と ◇歴史1.2: Q2/ 1.2:	ともに住まう おいます。 おいます。 は、ないでは、景観 は、ないでは、景観 は、ないでは、できるでは、 をいます。 ないでは、できるでは、 ないで	スコア 3 スコア 3 スコア 2 感じることができる。	◇地域環境やコ Q3/3.1 地域 LR3/2.2 温素 LR3/3.3.2 昼 建築物の外壁窓	ミュニティーへの 性への配慮、快き 快環境悪化の改き 光の建物外壁に 等を通しての熱持	適性の向上 ∮ よる反射光(グレ	合計点 ア)への対策 調和機器等のエネ	9 /15 スコア 3 スコア 3 スコア 3 ルギーの効率的 4 /10
■自然と ◆自然を駆 Q2 / 1.2. Q3 / 1.2 Q3 / 3.2 住居の天井 ■歴史性へ Q2 / 1.2.3 Q3 / 3.1 敷地周囲に	ともに住まう 比られる計画 1 広さ感・景観 生物環境の保全と創出 敷地の温熱環境の向上 គ高を2.3m以上確保しており、ゆとりある空間を ともに住まう への配慮 3 内装計画 地域性への配慮、快適性の向上 には目隠しフェンスやメッシュフェンスを設置して	スコア 3 スコア 3 スコア 2 感じることができる。	◇地域環境やコ Q3/3.1 地域 LR3/2.2 温素 LR3/3.3.2 昼 建築物の外壁窓	ミュニティーへの 性への配慮、快き 快環境悪化の改き 光の建物外壁に 等を通しての熱持	適性の向上 ∮ よる反射光(グレ	合計点 ア)への対策 顔和機器等のエネ。 合計点	9 /15 スコア 3 スコア 3 ルギーの効率的 4 /10 スコア 1 スコア 3
■自然と ◆自然を配 Q2/12 Q3/12 Q3/32 住居の天井 ■歴史と ◆歴史性へ Q2/12: Q3/3 敷地周囲に	ともに住まう 比られる計画 1 広さ感・景観 生物環境の保全と創出 敷地の温熱環境の向上 គ高を2.3m以上確保しており、ゆとりある空間を ともに住まう への配慮 3 内装計画 地域性への配慮、快適性の向上 には目隠しフェンスやメッシュフェンスを設置して	スコア 3 スコア 3 スコア 2 感じることができる。	◇地域環境やコ Q3/3.1 地域 LR3/2.2 温素 LR3/3.3.2 昼 建築物の外壁窓	ミュニティーへの 性への配慮、快 快 飛環境悪化の改善 光の建物が壁に 等を通しての熱 置を講じている。	適性の向上 ∮ よる反射光(グレ	合計点 ア)への対策 調和機器等のエネ	9 /15 スコア 3 スコア 3 スコア 3 ルギーの効率的 4 /10 スコア 1
■自然と ◇自然を認 Q2/ 1.2: Q3/ 3.2 住居の天井 ■歴史と ◇歴史性へ Q2/ 1.2: (Q3/ 3.1) 敷地周囲に ◆独自加 Q2/ 1.2:	ともに住まう 比られる計画 は 広さ感・景観 主物環境の保全と創出 敷地内温熱環境の向上	スコア 3 スコア 3 スコア 2 感じることができる。 、防犯性を高めている。	 ◇地域環境やコ Q3/3.1 地域 LR3/22 は LR3/23 3.3 足 建築物の外壁窓 利用のための措 	ミュニティーへの 性への配慮、快 保環境悪化の改き 光の建物外壁に 等を通しての熱 置を講じている。	適性の向上 を を を を を の の の の の の が は、 で 気 の が は、 で 気 の が の が の 、 で の の の の の の の の の の の の の	合計点 ア)への対策 調和機器等のエネ。 合計点 合計点 ている。または外塁	9 /15 スコア 3 スコア 3 スコア 3 ルギーの効率的 4 /10 スコア 1 スコア 3
■自然と ◆自然を認 ②2/12. ③3/3.2 住居の天井 ■歴史と ◆歴史性 ○2/12. ②3/3.1 敷地周囲に ◆独自加 ○2/1.2 LR3/3.3	ともに住まう じられる計画 加 広さ感・景観 主物環境の保全と創出 敷地内温熱環境の向上 +高を2.3m以上確保しており、ゆとりある空間を ともに住まう への配慮 3 内装計画 地域性への配慮、快適性の向上 は目隠しフェンスやメッシュフェンスを設置して 1点項目 1 広さ感・景観 1.2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への 5つくる	スコア 3 スコア 3 スコア 2 感じることができる。 、防犯性を高めている。	◇地域環境やコ Q3′31 地域 LR3′22 温息 LR3′33.2 昼 建築物の外壁窓 利用のための措 とる加点により、レ や簾状スクリーン/	ミュニティーへの 性への配慮、快 保環境悪化の改き 光の建物外壁に 等を通しての熱 置を講じている。	適性の向上 を を を を を の の の の の の が は、 で 気 の が は、 で 気 の が の が の 、 で の の の の の の の の の の の の の	合計点 ア)への対策 調和機器等のエネ 合計点 合計点 ている。または外型 上実施している。 合計点	9 /15 スコア 3 スコア 3 スコア 3 ルギーの効率的 4 /10 スコア 1 スコア 3 0 /2
■自然と ◇自然を認 ②2/ 1.2: ○3/ 3.2 住居の天井 ■歴史と ◇歴史性へ ②2/ 1.3: 数地周囲に ◆独自加 ②2/ 1.2: □R3/ 3.3	ともに住まう じられる計画 1 広さ感・景観 主物環境の保全と創出 敷地内温熱環境の向上 +高を2.3m以上確保しており、ゆとりある空間を ともに住まう への配慮 3 内装計画 地域性への配慮、快適性の向上 には目隠しフェンスやメッシュフェンスを設置して 1点項目 1 広さ感・景観 2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への	スコア 3 スコア 3 スコア 2 感じることができる。 、防犯性を高めている。	◇地域環境やコ Q3′31 地域 LR3′22 温息 LR3′33.2 昼 建築物の外壁窓 利用のための措 とる加点により、レ や簾状スクリーン/	ミュニティーへの 性への配慮、快 保環境悪化の改き 光の建物外壁に 等を通しての熱 置を講じている。	適性の向上 を を を を を の の の の の の が は、 で 気 の が は、 で 気 の が の が の 、 で の の の の の の の の の の の の の	合計点 ア)への対策 順和機器等のエネ 合計点 合計点 ている。または外塁 上実施している。	9 /15 スコア 3 スコア 3 スコア 3 ルギーの効率的 4 /10 スコア 1 スコア 3 0 /2 上に反 30 /50 7 /15
■自然と ◇自然を認 ②2/12: ③3/3-2 住居の天井 ■歴史と ○2/12: ③3/3.1 敷地周囲に ◆独自加 ②2/12: LR3/3.3 3 自然から ■自然材 ②2/12: ②3/3.1	ともに住まう 比られる計画 山 広さ感・景観 主物環境の保全と創出 敷地内温熱環境の向上 主高を2.3m以上確保しており、ゆとりある空間を ともに住まう への配慮 3 内装計画 地域性への配慮、快適性の向上 は目隠しフェンスやメッシュフェンスを設置して 1点項目 1 広さ感・景観 1.2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への 5つくる 1料の利用 3 内装計画 地域性への配慮、快適性の向上	スコア 3 スコア 3 スコア 2 感じることができる。 、防犯性を高めている。	◇地域環境やコ Q3′31 地域 LR3′22 温息 LR3′33.2 昼 建築物の外壁窓 利用のための措 とる加点により、レ や簾状スクリーン/	ミュニティーへの 性への配慮、快 保環境悪化の改き 光の建物外壁に 等を通しての熱 置を講じている。	適性の向上 を を を を を の の の の の の が は、 で 気 の が は、 で 気 の が の が の 、 で の の の の の の の の の の の の の	合計点 ア)への対策 調和機器等のエネ 合計点 合計点 ている。または外型 上実施している。 合計点	9 /15 スコア 3 スコア 3 スコア 3 ルギーの効率的 4 /10 スコア 1 スコア 3 0 /2 ***********************************
■自然と ◆自然を要 Q2/12: Q3/3/32 住居の天井 ●歴史と ◆独自加 Q2/12: Q3/3 敷地自加 Q2/12: Q3/3 Q2/12: Q3/3 ■自然材 Q2/12: Q3/3 ■12/2/25	ともに住まう 比られる計画 はたさい。景観 主物環境の保全と創出 敷地内温熱環境の向上 ・高を2.3m以上確保しており、ゆとりある空間を ともに住まう への配慮 3 内装計画 地域性への配慮、快適性の向上 は首隠しフェンスやメッシュフェンスを設置して 1点項目 1 広さ感・景観 2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への 1本項用 3 内装計画	スコア 3 スコア 3 スコア 2 感じることができる。 、防犯性を高めている。	◇地域環境やコ Q3′31 地域 LR3′22 温息 LR3′33.2 昼 建築物の外壁窓 利用のための措 とる加点により、レ や簾状スクリーン/	ミュニティーへの 性への配慮、快 保環境悪化の改き 光の建物外壁に 等を通しての熱 置を講じている。	適性の向上 を を を を を の の の の の の が は、 で 気 の が は、 で 気 の が の が の 、 で の の の の の の の の の の の の の	合計点 ア)への対策 調和機器等のエネ 合計点 合計点 ている。または外型 上実施している。 合計点	9 /15 スコア 3 スコア 3 ルギーの効率的 4 /10 スコア 1 スコア 3 0 /2 に反 30 /50 7 /15 スコア 1
■自然と ◇自然を整 ②2/12: ③3/3.2 住居の天井 ■歴史性 ○2/12: ③3/3.1 敷地周囲に ◆独自加 ②2/12: LR3/3.3 ■自然材 ②2/12: ③3/3.1 東地周田に	ともに住まう 比られる計画	スコア 3 スコア 3 スコア 2 感じることができる。 、防犯性を高めている。	◇地域環境やコ Q3′31 地域 LR3′22 温息 LR3′33.2 昼 建築物の外壁窓 利用のための措 とる加点により、レ や簾状スクリーン/	ミュニティーへの 性への配慮、快 保環境悪化の改き 光の建物外壁に 等を通しての熱 置を講じている。	適性の向上 を を を を を の の の の の の が は、 で 気 の が は、 で 気 の が の が の 、 で の の の の の の の の の の の の の	合計点 ア)への対策 調和機器等のエネ 合計点 合計点 ている。または外型 上実施している。 合計点 合計点	9 /15 スコア 3 スコア 3 スコア 3 ルギーの効率的 4 /10 スコア 1 スコア 3 0 /2 に反 30 /50 7 /15 スコア 1 スコア 1 スコア 3
■自然と ○自然を ○自然を ○ロ/ 1 : 2 ○3/ 3.2 住居の天ま ●歴史性 ○ロ/ 1.2: ○3/ 3.1 敷地周囲に ◆独自加 ○2/ 1.2: ○3/ 3.1 東地周囲に ○1/ 2.2: ○3/ 3.1 東地周囲に ○2/ 1.2: ○3/ 3.1 ○1/ 2.2: ○3/ 3.1 ○1/ 2.2: ○1/ 2.2	ともに住まう 比られる計画 1 広さ感・景観 主物環境の保全と創出 敷地内温熱環境の向上 ・高を2.3m以上確保しており、ゆとりある空間を ともに住まう への配慮 3 内装計画 地域性への配慮、快適性の向上 はも隠しフェンスやメッシュフェンスを設置して は「虚感・景観 2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への 1 本項目 1 本項目 1 本域性への配慮、快適性の向上 1 持続可能と変熱がら廃出された木材 下地には地域産木材を使用している。 2 様の利用 1 昼光平	スコア 3 スコア 3 スコア 2 感じることができる。 ぶ、防犯性を高めている。 京都重点項目に、格子状ルーパー 射率の低い自然	◆地域環境やコ Q3/31 地域 LR3/22 温息 LR3/232 昼 建築物の外壁窓 利用のための措 よる加点により、レ や簾状スクリーン/ 素材を採用してい、	ミュニティーへの性への配慮、特性への配慮、特別では、のでは、では、では、では、では、一般では、では、一般では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	適性の向上 を を を を の の に の に の の に の の に の の に の の に の の の の の の の の の の の の の	合計点 ア)への対策 調和機器等のエネ 合計点 合計点 ている。または外型 上実施している。 合計点	9 /15 スコア 3 スコア 3 ルギーの効率的 4 /10 スコア 1 スコア 3 0 /2 に反 30 /50 7 /15 スコア 3
■自然と ●自然を要 「Q2/12 「Q3/3/32 住居の天井 ●歴史生 ●歴史性 「Q2/12: (Q3/3) 数地間 数地間 「Q2/12: 「Q3/3] 数地間 「Q2/12: 「Q3/3] 「Q2/12: 「Q3/3] 「Q2/12: 「Q3/3] 「Q2/12: 「Q3/3] 「Q2/12: 「Q3/3] 「Q2/12: 「Q3/3] 「Q2/12: 「Q3/3] 「Q2/12: 「Q3/3] 「Q2/12: 「Q3/3] 「Q2/12: 「Q3/3] 「Q2/12: 「Q3/3] 「Q2/12: 「Q3/3] 「Q2/12: 「Q3/3] 「Q2/12: 「Q3/3] 「Q2/12: 「Q3/3] 「Q2/12: 「Q3/3] 「Q3/3] 「Q2/12: 「Q3/3] 「Q2/12: 「Q3/3] 「Q2/12: 「Q3/3] 「Q2/12: 「Q3/3] 「Q2/12: 「Q3/3] 「Q2/12: 「Q3/3] 「Q2/12: 「Q3/3] 「Q3/3] 「Q2/12: 「Q3/3] 「Q3/3] 「Q2/12: 「Q3/3] 「Q3/3] 「Q2/12: 「Q3/3] 「Q3/3] 「Q2/12: 「Q3/3] 「Q3/3] 「Q3/3] 「Q3/3] 「Q3/3] 「Q3/3] 「Q3/3] 「Q3/3] 「Q3/3] 「Q3/3] 「Q3/3] 「Q3/4] 「Q4/4]	ともに住まう ***********************************	スコア スコア スコア スコア 2 感じることができる。 できる。 京都重点項目に 格子状ルーバー 射率の低い自然	◆地域環境やコ Q3/31 地域 LR3/22 温息 LR3/232 昼 建築物の外壁窓 利用のための措 よる加点により、レ や簾状スクリーン/ 素材を採用してい、	ミュニティーへの 性への配慮 快き 性への配慮 快き 光の建物外壁に 等を通している。 で、ル5を超える。 、こよりガラス面等 る等の推奨内容	適性の向上 を を を を の の に の に の の に の の に の の に の の に の の の の の の の の の の の の の	合計点 ア)への対策 調和機器等のエネ 合計点 合計点 ている。または外型 上実施している。 合計点 合計点	9 /15 スコア 3 スコア 3 スコア 3 ルギーの効率的 4 /10 スコア 1 スコア 3 0 /2 Eに反 30 /50 7 /15 スコア 1 スコア 1 スコア 3 スコア 3
■自然と ○自然を要 ○自然と ○日本 (1) (2) (3) (3) (3) (3) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	ともに住まう 比られる計画	スコア 3 スコア 3 スコア 2 感じることができる。 意じることができる。 京都重点項目に、 材子状ルーバー 射率の低い自然 スコア 3 スコア 3 スコア 3 スコア 3	◆地域環境やコ Q3/31 地域 LR3/22 温泉 LR3/232 昼 建築物の外壁窓 利用のための措 は は は は に は に に に に に に に に れ り に れ り に り に り に り に	ミュニティーへの性への配慮、特性への配慮、特別では、のでは、では、では、では、では、一般では、では、一般では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	適性の向上 を を を を の の に の に の の に の の に の の に の の に の の の の の の の の の の の の の	合計点 ア)への対策 調和機器等のエネ 合計点 合計点 ている。または外型 上実施している。 合計点 合計点	9 /15 スコア 3 スコア 3 ルギーの効率的 4 /10 スコア 1 スコア 3 0 /2 に反 30 /50 7 /15 スコア 3
■自然と ●自然を要 ②2/12: ③3/3/32 住居の天井 ■歴史生 ②2/12: ③3/3.1 敷地間 ②2/12: 日本 ③2/12: 日本 ③2/12: 日本 ③2/12: 日本 ③2/12: 日本 ③2/12: 日本 ③2/12: 日本 ③2/12: 日本 ③2/12: 日本 ③2/12: 日本 ③2/12: 日本 ③2/12: 日本 ④2/12: 日本 ④2/12: 日本 ④2/12: 日本 ④2/12: 日本 ④2/12: 日本 ④2/12: 日本 ④2/12: 日本 ④2/12: 日本 ④2/12: 日本 ④2/12: 日本 ⑥2/12: 日本 〇2/12: 日本 〇2/12: 日本 日本 〇2/12: 日本 日本 〇2/12: 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本	ともに住まう 北られる計画	スコア 3 スコア 3 スコア 3 スコア 2 感じることができる。 一家じることができる。 「京都重点項目に、 京都重点項目に、	○ 地域環境やコ Q3 3.1 地域表 LR3 / 2 単 LR3 / 2 3.2 屋 建築物の外壁窓 利用のための措 はなる加点により、レ や籐鉄大スクリーンレ 株材を採用してい LR1 / 2 自然 LR2 / 1.2.1 雨	ミュニティーへの性への配慮、特性への配慮、特別では、のでは、できる。 大の建物が壁に できる しての熱 置を講じている。 でいる こくり カラス 面等な しょく の 本の 本	適性の向上 を を を を の の に の に の の に の の に の の に の の に の の の の の の の の の の の の の	合計点 ア)への対策 調和機器等のエネ。 合計点 合計点 ている。または外型 上実施している。 合計点 合計点 合計点	9 /15 スコア 3 スコア 3 ルギーの効率的 4 /10 スコア 1 スコア 3 0 /2 に反 30 /50 7 /15 スコア 1 スコア 3 スコア 3 スコア 3 スコア 3 スコア 3
■自然と ②自然を愛 ②2/12: ③3/32 住居の天井 ■歴史性 ②2/12: ③3/3.1 敷地周囲 ②2/12: ①3/3.1 東地周 ②2/12: □3/3.1 □1/3.1 □1/3.1 □1/3.1 □1/3.1 □1/4.2 □1/3.1 □1/4.2 □1/4.	ともに住まう 北られる計画	スコア 3 スコア 3 スコア 3 スコア 2 感じることができる。 一家じることができる。 「京都重点項目に、 京都重点項目に、	○ 他域環境やコ Q3/31 地域 LR3/22 温泉 LR3/23 温泉 上R3/33.2 屋 建築物の外壁窓 利用のための措 はない。 とない。 とない。 とない。 とない。 とは、 とは、 とは、 とは、 とは、 とは、 とは、 とは、	ミュニティーへの 性への配慮、快き 性への配慮、快き 表深境悪化の 光の建物が壁に 等を講じている。 でル5を超える。 によりガラス面等 によりガラス面等 によりがラス面等 によりがラス面等 によりがラスカー で、水利用システム	適性の向上 素 よる反射光(グレ 質失の防止、空気 の反射光を抑制し の取組みを、1以	合計点 ア)への対策 調和機器等のエネ 合計点 合計点 ている。または外型 上実施している。 合計点 合計点	9 /15 スコア 3 スコア 3 ルギーの効率的 4 /10 スコア 1 スコア 3 0 /2 に反 30 /50 7 /15 スコア 1 スコア 3 スコア 3 スコア 3 スコア 3 スコア 3
■自然と ●自然を要	ともに住まう ***********************************	スコア 3 スコア 3 スコア 3 スコア 2 感じることができる。 感じることができる。 意味 重点 項目に、格子状ルーバー・射率の低い自然: カオ策 格子状ルーバー・射率の低い自然: スコア 3 スコア 3 スコア 4 きる大きさの窓が関いられてにとができるよう配慮している。	●地域環境やコ Q3/31 地域 LR3/22 温 LR3/23.2 屋 建築物の外壁 潜 対用のための増 はないしていた とる加点により、レ や藤状スクリーンは 素材を採用していた にR2/1.21 雨 いる。 る。 された木材」のうち バーやライトシェル	ミュニティーへの 性への配慮、大学 保護・大学 を選りたでの熱する でいる。 でい。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でい。	適性の向上 素 素 素 素 素 素 素 素 素 素 の 原 大 の 防 止 、 空 気 の の の の の の の の の の の の の	合計点 ア)への対策 調和機器等のエネ。 合計点 合計点 ている。または外型 上実施している。 合計点 合計点 合計点	9 /15 スコア 3 スコア 3 ルギーの効率的 4 /10 スコア 1 スコア 3 0 /2 に反 30 /50 7 /15 スコア 1 スコア 3 21 /30 スコア 3 スコア 3 スコア 3
■自然と ●自然を ●自然を ● 1 - 2 - 2 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3	ともに住まう 比られる計画	スコア スコア スコア スコア スコア 2 感じることができる。 の対策 を	◇地域環境やコ Q3/3.1 地域表 LR3/22 LR3/3.32 屋 連葉物の外壁搭 利用のための指 はる加点により、レーント 素材を採用してい との にR2/1.21 雨 にR2/1.2.1 雨 いる。 された木材」のうちエル れかの手法がんやライトシェ沢用 れかの手法がのの手法がんかの手法がんかの手法がんかの手法がより、とは、 なるの。	ミュニティーへの 性への配慮 改造 性への配慮 改造 機関境悪化の建物外壁に 等を適している。 ************************************	適性の向上 素 よる反射光(グレ 質失の防止、空気 の反射光を抑制し の取組みを、1以上 更奨内容の昼光利 乗奨内容の基光利	合計点 ア)への対策 調和機器等のエネ 合計点 合計点 ている。または外型 上実施している。 合計点 合計点 合計点 合計点	9 /15 スコア 3 スコア 3 ルギーの効率的 4 /10 スコア 1 スコア 3 0 /2 に反 30 /50 7 /15 スコア 1 スコア 3 21 /30 スコア 3 スコア 3 スコア 3
■自然と	ともに住まう 比られる計画	スコア 3 スコア 3 スコア 3 スコア 2 感じることができる。 感じることができる。 意味	◇地域環境やコ Q3/3.1 地域表 LR3/22 LR3/3.32 屋 連葉物の外壁搭 利用のための指 はる加点により、レーント 素材を採用してい との にR2/1.21 雨 にR2/1.2.1 雨 いる。 された木材」のうちエル れかの手法がんやライトシェ沢用 れかの手法がのの手法がんかの手法がんかの手法がんかの手法がより、とは、 なるの。	ミュニティーへの 性への配慮 改造 性への配慮 改造 機関境悪化の建物外壁に 等を適している。 ************************************	適性の向上 素 よる反射光(グレ 質失の防止、空気 の反射光を抑制し の取組みを、1以上 更奨内容の昼光利 乗奨内容の基光利	合計点 ア)への対策 調和機器等のエネ 合計点 合計点 ている。または外型 上実施している。 合計点 合計点 合計点 合計点	9 /15 スコア 3 スコア 3 ルギーの効率的 4 /10 スコア 1 スコア 3 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
■自然と ●自然と ●自然を ②2/ 1.2 ③3/ 3.2 住居の天井 ●歴史性 ②2/ 1.2: ③3/ 3.1 敷地周囲は ●独自加 ②2/ 1.2: □ (1/ 3.1: ○ (1/ 3.1	ともに住まう 比られる計画	スコア スコア スコア スコア スコア 夏感じることができる。 感じることができる。 京都重点項目に、 有子状ルーバー 射率の低い自然 対策 格子状ルーバー タイン・ を表きさの窓が配慮している。 「持続可能な森林から産出。 「持続可能な森林から産出。 デザインされた格子状ルー デザインされた格子状ルー デザインされた格子状ルー デザインされた格子状ルー 手配の内容に加え、利用量 屋光制御	◇地域環境やコ Q3/31 地域 LR3/232 昼 LR3/232 昼 上R3/332 昼 建築物の外壁窓 利用のための借 はない、 とや藤状スクリーンしい。 大を採用してい、 とでは、 にR2/1.21 雨 にR2/1.21 雨 にR2/1.21 雨 にR2/1.21 雨 にR2/1.21 雨 にR3/10 では、 にR3/10 では、 にR3/10 では、 にR4/10 では、 にない、 にいい、 でい、 にいい、 でい、 にいい、 でい、 にいいい、 にいい、 にいいい、 にいい、 にいい、 にいいい、 にいい、 にいい、 にいい、 にいい、 にいい、 にいい、 にいいい、 にいいい、 にいいい、 にいいいい、 にいいい、 にいいい、 にいいい、 にいいい、 にいいいい、 にいいいい、 にいいいい、 にいいいいいいいいいい	ミュニティーへの 性への配慮、改善性への配慮、改善性への配慮、改善の配慮、改善の配慮、改善の配慮、改善の配慮、改善の配金、投資を関係である。 光の建物が壁に等きを講じている。 等を講じている。 ベル5を超える事を講じている。 によりが方元奨内をは、大の主なのをは、大の大の推立、大の大の推立、大の大の大の大のでは、大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の	適性の向上 素 よる反射光(グレ 質失の防止、空気 の反射光をを・1 の取組みを・1 の取組みを・1 の取組みを・2 東興内容の昼屋光利の のを記述といる。	合計点 ア)への対策 調和機器等のエネ 合計点 合計点 ている。または外型 上実施している。 合計点 合計点 合計点 合計点	9 /15 スコア 3 スコア 3 ルギーの効率的 4 /10 スコア 1 スコア 3 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
■自然と ●自然と ●自然を ②2/ 1.2 ③3/ 3.2 住居の天井 ●歴史性 ②2/ 1.2: ③3/ 3.1 敷地周囲は ●独自加 ②2/ 1.2: □ (1/ 3.1: ○ (1/ 3.1	ともに住まう 比られる計画	スコア スコア スコア スコア 2 悪じることができる。 悪じることができる。 京都重点項目に、 格子状ルーバー 射率の低い自然: カ対策 格子状ルーバーの メコア スコア スコア スコア スコア スコア スコア スコア スコア スコア ス	◇ 地域環境やコ Q3/3.1 地域表 LR3/22 上R3/3.32 昼 建築物の外壁措 建築物の外壁措 はる加点により、レント 素材を採用してい。 と1/1 と 自然 に2/1 に でいっている。 と2/1 に でいってい。 と3/1 に でいっている。 と4/1 に でいっている。 と4/1 に でいっている。 と5/1 に でいる。 と5/1 に でいっといる。 と5/1 に でいっといる。 と5/1 に でいる。 と5/1 に でいる。	コニティーへの 性への 性への 性への 性への 性への になり 等を 通じている。 では、 ボル5を 超える。 等を 通じている。 では、 がする では、 がする では、 がする では、 がする。 では、 がする。 では、 がする。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	適性の向上 素 よる反射光(グレ 質失の防止、空気 の反射光をを・1 の取組みを・1 の取組みを・1 の取組みを・2 東興内容の昼屋光利の のを記述といる。	合計点 ア)への対策 調和機器等のエネ 合計点 合計点 合計点 でいる。または外型 上実施している。 合計点 合計点 合計点 合計点 合計点 おいる。	9 /15 スコア 3 スコア 3 ルギーの効率的 4 /10 スコア 1 スコア 3 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
■自然と ◇自然を要 ②2 / 1.2 ③3 / 3.2 住居の天井 ■歴史性- ○変 / 1.2 ③3 / 3.1 敷地周囲に ②2 / 1.2 ③3 / 3.1 敷地周口 ②2 / 1.2 ③3 / 3.1 上R3 / 3.3 ■自然材 ○図 / 3.1 ○図 / 3	ともに住まう 比られる計画	スコア スコア スコア スコア スコア 夏感じることができる。 感じることができる。 京都重点項目に、 有子状ルーバー 射率の低い自然 対策 格子状ルーバー タイン・ を表きさの窓が配慮している。 「持続可能な森林から産出。 「持続可能な森林から産出。 デザインされた格子状ルー デザインされた格子状ルー デザインされた格子状ルー デザインされた格子状ルー 手配の内容に加え、利用量 屋光制御	◇ 地域環境やコ Q3/3.1 地域 LR3/22 LR3/23.2 屋 基準物の外壁 潜 利用のための 指 とる加点により、レーン よる加点により、レーン 未材を採用してい、 とも繁长を採用していい。 にR2/1.2.1 雨 にR2/1.2.1 雨 にR2/1.2.1 雨 にR3/3.3.2 昼 になり、レーン になり、となり、となり、となり、となり、となり、となり、となり、となり、となり、と	コニティーへの 性への 性への 性への 性への 性への になり 等を 通じている。 では、 ボル5を 超える。 等を 通じている。 では、 がする では、 がする では、 がする では、 がする。 では、 がする。 では、 がする。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	適性の向上 素 よる反射光(グレ 質失の防止、空気 の反射光をを・1 の取組みを・1 の取組みを・1 の取組みを・2 東興内容の昼屋光利の のを記述といる。	合計点 ア)への対策 調和機器等のエネ 合計点 合計点 ている。または外型 上実施している。 合計点 合計点 合計点 合計点 に対 を解析している。 に対 の計点 に対 の計 に対 の対 の計 に対 の対 の計 に対 の対	9 /15 スコア 3 スコア 3 ルギーの効率的 4 /10 スコア 1 スコア 3 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
■自然と ●自然と ●自然を ②2/ 12: ○3/ 3.2 住居の天土 ●歴史性・ ○2/ 1.2: ○3/ 3.1 敷地周囲は ●独自加 ○2/ 1.2: ○3/ 3.1 下記 (3.3) ■自然が。 ○2/ 1.2: ○3/ 3.1 ○4/ 1.2: ○3/ 3.1 ○4/ 1.2: ○3/ 3.1 ○1/ 3.1: ○1/ 3.1:	ともに住まう 比られる計画	スコア スコア スコア スコア スコア 夏感じることができる。 感じることができる。 京都重点項目に、 有子状ルーバー 射率の低い自然 対策 格子状ルーバー タイン・ を表きさの窓が配慮している。 「持続可能な森林から産出。 「持続可能な森林から産出。 デザインされた格子状ルー デザインされた格子状ルー デザインされた格子状ルー デザインされた格子状ルー 手配の内容に加え、利用量 屋光制御	◇ 地域環境やコ Q3/3.1 地域 LR3/22 LR3/23.2 屋 基準物の外壁 潜 利用のための 指 とる加点により、レーン よる加点により、レーン 未材を採用してい、 とも繁长を採用していい。 にR2/1.2.1 雨 にR2/1.2.1 雨 にR2/1.2.1 雨 にR3/3.3.2 昼 になり、レーン になり、となり、となり、となり、となり、となり、となり、となり、となり、となり、と	ミュニティーへの 性への配慮、改善性への配慮、改善性への配慮、改善の性性への配慮、改善の性性への配慮、改善の性性のを認定を増加している。 ボルの建物が壁にできる。 ボル5を超える、一部では、カールでは、カール5を力のでは、カール5を力のでは、カール5を力のでは、カール5を力のでは、カール5を力が、カール5を対象が、カール5を力が、カール5を力が、カール5を力が、カール5を力が、カール5を力が、カール5を力が、カール5を力が、カール5を力が、カール5を力が、カール5を力が、カール5を力が、カール5を対象が、カール5を力が、カール5を対象が、カール5をが	適性の向上 素と反射光(グレ 質失の防止、空気 の反射光を抑制し の取組みを、1以上 東興内容のメントの よる反射光	合計点 ア)への対策 調和機器等のエネ 合計点 合計点 でいる。または外型 上実施している。 合計点 合計点 合計点 合計点 自計点 合計点 の	9 /15 スコア 3 スコア 3 ルギーの効率的 4 /10 スコア 1 スコア 3 0 /2 に反 30 /50 7 /15 スコア 3 スコア 3 21 /30 スコア 3 スコア 3 スコア 3 21 /30 スコア 3 スコア 3
■自然と ●自然と ●自然を ②2/ 12: ○3/ 3.2 住居の天土 ●歴史性・ ○2/ 1.2: ○3/ 3.1 敷地周囲は ●独自加 ○2/ 1.2: ○3/ 3.1 下記 (3.3) ■自然が。 ○2/ 1.2: ○3/ 3.1 ○4/ 1.2: ○3/ 3.1 ○4/ 1.2: ○3/ 3.1 ○1/ 3.1: ○1/ 3.1:	ともに住まう ***********************************	スコア スコア スコア スコア スコア 夏感じることができる。 感じることができる。 京都重点項目に、 有子状ルーバー 射率の低い自然 対策 格子状ルーバー タイン・ を表きさの窓が配慮している。 「持続可能な森林から産出。 「持続可能な森林から産出。 デザインされた格子状ルー デザインされた格子状ルー デザインされた格子状ルー デザインされた格子状ルー 手配の内容に加え、利用量 屋光制御	◇ 地域環境やコ Q3/3.1 地域 LR3/22 LR3/23.2 屋 基準物の外壁 潜 利用のための 指 とる加点により、レーン よる加点により、レーン 未材を採用してい、 とも繁长を採用していい。 にR2/1.2.1 雨 にR2/1.2.1 雨 にR2/1.2.1 雨 にR3/3.3.2 昼 になり、レーン になり、となり、となり、となり、となり、となり、となり、となり、となり、となり、と	ミュニティーへの 性への配慮の改生への 性への配慮の改生 大変境悪物外壁に 等を満聞している。 まった。 ボルルギーステム ボルガラス契内 がは、カース・カース・カース・カース・カース・カース・カース・カース・カース・カース・	画性の向上 素よ <u>る反射光(グレ</u> 一 一 一 一 一 の の 反射光を抑制し の の の の の の の の の の の の の	合計点 ア)への対策 調和機器等のエネ 合計点 合計点 合計点 でいる。または外型 上実施している。 合計点 合計点 合計点 合計点 の合計点 のの対策 のの対策	9 /15 スコア 3 スコア 3 ルギーの効率的 4 /10 スコア 1 スコア 3 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
■自然と ●自然と ●自然を ●	ともに住まう ***********************************	スコア スコア スコア スコア スコア 夏感じることができる。 感じることができる。 京都重点項目に、 有子状ルーバー 射率の低い自然 対策 格子状ルーバー タイン・ を表きさの窓が配慮している。 「持続可能な森林から産出。 「持続可能な森林から産出。 デザインされた格子状ルー デザインされた格子状ルー デザインされた格子状ルー デザインされた格子状ルー 手配の内容に加え、利用量 屋光制御	◇ 地域環境やコ Q3/3.1 地域 LR3/22 LR3/23.2 屋 基準物の外壁 潜 利用のための 指 とる加点により、レーン よる加点により、レーン 未材を採用してい、 とも繁长を採用していい。 にR2/1.2.1 雨 にR2/1.2.1 雨 にR2/1.2.1 雨 にR3/3.3.2 昼 になり、レーン になり、となり、となり、となり、となり、となり、となり、となり、となり、となり、と	ミュニティーへの 性への配慮、対象 性への配慮、対象 機関境悪物外壁に 等を講じている。 ベル5を超える。 等を講じている。 ベル5を超える。 でよりガラス面等 ベルリガラスで表す。 ボル利用システム ボルボー利用 ボルボー利用 ボルボールである。 境の保全と外外壁に の建物外壁に がの建物が外壁に がの建物が がりがラスである。 境の保全と外外壁に がの建物が がりが策	画性の向上 素よる反射光(グレ 質失の防止、空気 の反射光を抑制し の取組みを、1以」 更用し容の昼光利の の最光利かを、2 はならのを発光がある。 はならのが、1 はならのが、1 はならのが、1 はならのが、1 はならのが、1 はならのが、1 はならのが、1 はないが、1 はないがいが、1 はないがいが、1 はないがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいが	合計点 ア)への対策 調和機器等のエネ 合計点 合計点 でいる。または外型 上実施している。 合計点 合計点 合計点 合計点 自計点 合計点 の	9 /15 スコア 3 スコア 3 ルギーの効率的 4 /10 スコア 1 スコア 3 0 /2 に反 30 /50 7 /15 スコア 3 スコア 3 21 /30 スコア 3 スコア 3 スコア 3 21 /30 スコア 3 スコア 3

:「ウッドマイレージ計算書」から転: 自由記述入力欄

CASBEE-京都-建築(新築)2018年版 (仮称)下松屋町共同住宅新築工事 ■使用評価マニュ: CASBEE-京都-建築(新築)2018年 欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト: CASBEE京都-新築2018 (v.1.0)

<i>(仮称)下</i>	松屋町共同住宅新築工事	_		欄に数値またはコメントを記入■評価と	/フト:	CASBE	E京都-新	斤築2018	3 (v.1.
スコアシー	ート 実施設計段階								
		重点	重点項目に対 する全国版評		建物全体・	共用部分	住居・宿	百泊部分	
己慮項目		項目等	する全国版評 価基準の見直 し	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み 係数	評価点	重み 係数	全体
建築物	物の環境品質								3.1
1 室内3						0.40		-	3.3
1 音環均					4.0	0.15	3.7	1.00	3.8
	室内騒音レベル				3.0	0.50	3.0	0.50	
	遮音				5.0	0.50	4.5	0.50	
	1 開口部遮音性能			T-2に相当	5.0	1.00	5.0	0.30	
	2 界壁遮音性能			D-50以下とする	-	-	4.0	0.30	
	3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			Lr-45に相当	-	-	4.0	0.20	
10	4 界床遮音性能(重量衝撃源)			Lr-45に相当	-	-	5.0	0.20	
2 温熱理	吸音 ■ 16				2.0	0.35	3.0	1.00	2.7
	案场 室温制御				3.0	0.50	3.0	1.00	2.1
2.1	1 室温				3.0	0.63	-	-	
	2 外皮性能				3.0	0.38	3.0	1.00	
	3 ゾーン別制御性					-	-	-	
2.2	湿度制御				1.0	0.20	-	-	
	空調方式				1.0	0.30	-	-	
3 <u>光·視</u>					3.3	0.25	3.5	1.00	3.4
3.1	昼光利用				4.2	0.30	4.0	0.50	
	1 昼光率	●自然	A(全国版準用)	【共用部分】2.70%【住居部分】3.70%	5.0	0.60	5.0	0.50	
	2 方位別開口	M	- (±46)(107 - ±- prin)		*	- 0.40	3.0	0.30	
2.0	3 昼光利用設備	●目祭	B(推奨内容)		3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2	グレア対策 1 昼光制御	● □ #	B(推奨内容)		3.0 3.0	0.30 1.00	3.0	0.50 1.00	
3 3		●自殺	D(推奨内容)		3.0 3.0	0.15	3.0	1.00	
	照明制御				3.0	0.15			
4 空気費					3.6	0.25	3.7	1.00	3.7
	発生源対策				4.0	0.60	4.0	0.63	
	1 化学污染物質			F☆☆☆☆の建材を使用	4.0	1.00	4.0	1.00	
4.2	換気				3.0	0.40	3.3	0.38	
	1 換気量				3.0	0.50	3.0	0.33	
	2 自然換気性能	●自然	A(全国版準用)	2階AタイプLDK 居室面積26.42m2(1/8の面積3.30m2) 窓面積3.40m2	-	-	4.0	0.33	
	3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3	運用管理				•	-	- 1	-	
	1 CO ₂ の監視					-		-	
о <u>и</u> п	2 喫煙の制御 ビス性能					-		-	0.0
z サーロ 1 機能性					-	0.30	2.6	1.00	2.6
	<u>*</u> 機能性・使いやすさ				2.4	0.40	2.0	1.00	2.5
1					3.0	0.40		0.60	
	1 1 広さ・収納性				3.0	0.40	3.0	0.60	
	1 広さ・収納性 2 高度情報通信設備対応				3.0	0.40	3.0	-	
	2 高度情報通信設備対応	●大切	D(独自基準)		3.0	-	3.0		
1.2		●大切	D(独自基準)			-	3.0	-	
1.2	2 高度情報通信設備対応 3 バリアフリー計画		D(独自基準) C(独自加点)		3.0	- - 1.00	3.0	1.00	
	2 高度情報通信設備対応 3 パリアフリー計画 心理性・快適性 1 広さ感・景観 (天井高) 2 リフレッシュスペース	● とも	C(独自加点)		3.0	- 1.00 0.30 -	3.0 3.0 2.0	- 1.00 - 0.40 0.50	
	2 高度情報通信設備対応 3 バリアフリー計画 心理性・快適性 1 1 広さ感・景観 (天井高)	● とも			3.0 1.0	1.00 0.30	3.0 3.0 2.0 3.0	1.00 - 0.40 0.50	
	2 高度情報通信設備対応 3 パリアフリー計画 心理性・快適性 1 1 広さ感・景観 (天井高) 2 リフレッシュスペース 3 内装計画 維持管理	● とも	C(独自加点)		3.0 1.0 1.0 3.0	1.00 0.30 - - 1.00 0.30	3.0 3.0 2.0 3.0	- 1.00 - 0.40 0.50	
	2 高度情報通信設備対応 3 パリアフリー計画 心理性・快適性 1 1 広さ感・景観 (天井高) 2 リフレッシュスペース 3 内装計画 維持管理 1 1 維持管理に配慮した設計	● とも	C(独自加点)		3.0 1.0 1.0 3.0 3.0	1.00 0.30 - 1.00 0.30 0.50	3.0 3.0 2.0 3.0	- 1.00 - 0.40 0.50	
1.3	2 高度情報通信設備対応 3 パリアフリー計画 心理性・快適性 1 広さ感・景観 (天井高) 2 リフレッシュスペース 3 内装計画 維持管理 1 維持管理に配慮した設計 2 維持管理用機能の確保	● とも	C(独自加点)		3.0 1.0 1.0 3.0 3.0 3.0	1.00 0.30 - - 1.00 0.30 0.50 0.50	3.0 3.0 2.0 3.0 1.0	- 1.00 - 0.40 0.50 - 0.50 - -	
1.3	2 高度情報通信設備対応 3 パリアフリー計画 心理性・快適性 1 広さ感・景観 (天井高) 2 リフレッシュスペース 3 内装計画 維持管理 1 維持管理に配慮した設計 2 維持管理用機能の確保 4 生・信頼性	● とも	C(独自加点)		3.0 1.0 1.0 3.0 3.0 3.0 3.0	1.00 0.30 - 1.00 0.30 0.50 0.50	3.0 3.0 2.0 3.0 1.0	- 1.00 - 0.40 0.50 - 0.50 - -	3.0
1.3	2 高度情報通信設備対応 3 パリアフリー計画 心理性・快適性 1 広さ感・景観 (天井高) 2 リフレッシュスペース 3 内装計画 維持管理 1 維持管理に配慮した設計 2 維持管理用機能の確保 生・信頼性 耐震・免震・制震・制振	● とも	C(独自加点)		3.0 1.0 1.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0	1.00 0.30 - 1.00 0.30 0.50 0.50 0.50	3.0 3.0 2.0 3.0 1.0	- 1.00 - 0.40 0.50 - 0.50 - -	3.0
1.3	2 高度情報通信設備対応 3 パリアフリー計画 心理性・快適性 1 広さ感・景観 (天井高) 2 リフレッシュスペース 3 内装計画 維持管理 1 維持管理に配慮した設計 2 維持管理用機能の確保 生・信頼性 耐震・免震・制震・制振 1 耐震性(建物のこわれにくさ)	● とも	C(独自加点)		3.0 1.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0	1.00 0.30 - 1.00 0.30 0.50 0.50 0.50 0.80	3.0 3.0 2.0 3.0 1.0	- 1.00 - 0.40 0.50 - 0.50 - -	3.0
1.3 2 耐用性 2.1	2 高度情報通信設備対応 3 パリアフリー計画 心理性・快適性 1 広さ感・景観 (天井高) 2 リフレッシュスペース 3 内装計画 維持管理 1 維持管理に配慮した設計 2 維持管理用機能の確保 生・信頼性 耐震・免震・制震・制振 1 耐震性(建物のこわれにくさ) 2 免震・制震・制振性能	● とも	C(独自加点)		3.0 1.0 1.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0	1.00 0.30 - 1.00 0.30 0.50 0.50 0.50	3.0 3.0 2.0 3.0 1.0	- 1.00 - 0.40 0.50 - 0.50 - -	3.0
1.3 2 耐用性 2.1	2 高度情報通信設備対応 3 パリアフリー計画 心理性・快適性 1 広さ感・景観 (天井高) 2 リフレッシュスペース 3 内装計画 維持管理 1 維持管理同處した設計 2 維持管理用機能の確保 生・信頼性 耐震・免震・制震・制振 1 耐震性(建物のこわれにくさ) 2 免震・制震・制振性能 部品・部材の耐用年数	● とも ● 自然	C(独自加点)	住宅性能表示基準「3. 劣化の軽減に関すること」等級3	3.0 1.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0	1.00 0.30 - 1.00 0.30 0.50 0.50 0.50 0.80 0.20	3.0 3.0 2.0 3.0 1.0	- 1.00 - 0.40 0.50 - 0.50 - -	3.0
1.3 2 耐用性 2.1	2 高度情報通信設備対応 3 パリアフリー計画 心理性・快適性 1 広さ感・景観 (天井高) 2 リフレッシュスペース 3 内装計画 維持管理 1 維持管理に配慮した設計 2 維持管理用機能の確保 生・信頼性 耐震・免震・制震・制振 1 耐震性(建物のこわれにくさ) 2 免震・制震・制振性能 部品・部材の耐用年数	● とも ● 自然	C(独自加点) D(独自基準)	住宅性能表示基準「3. 劣化の軽減に関すること」等級3	3.0 1.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0	1.00 0.30 - 1.00 0.30 0.50 0.50 0.50 0.80 0.20 0.30	3.0 3.0 2.0 3.0 1.0	- 1.00 - 0.40 0.50 - 0.50 - -	3.0
1.3 2 耐用性 2.1	2 高度情報通信設備対応 3 パリアフリー計画 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	●とも ●自然 ●大切	C(独自加点) D(独自基準)	住宅性能表示基準「3. 劣化の軽減に関すること」等級3 ビニルクロス貼 20年	3.0 1.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 5.0	1.00 0.30 - 1.00 0.30 0.50 0.50 0.50 0.80 0.20 0.30	3.0 3.0 2.0 3.0 1.0	- 1.00 - 0.40 0.50 - 0.50 - -	3.0
1.3 2 耐用性 2.1	2 高度情報通信設備対応 3 パリアフリー計画 心理性・快適性 1 広さ感・景観 (天井高) 2 リフレッシュスペース 3 内装計画 維持管理 1 維持管理に配慮した設計 2 維持管理用機能の確保 生・信頼性 耐震・免震・制震・制振・制振性 1 耐震性(建物のこわれにくさ) 2 免震・制震・制振性能 部品・部材の耐用年数 1 躯体材料の耐用年数 2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	●とも ●自然	C(独自加点) D(独自基準)		3.0 1.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3	1.00 0.30 - 1.00 0.30 0.50 0.50 0.30 0.50 0.20 0.20	3.0 3.0 2.0 3.0 1.0	- 1.00 - 0.40 0.50 - 0.50 - -	3.0
1.3 2 耐用性 2.1	2 高度情報通信設備対応 3 パリアフリー計画 心理性・快適性 1 広さ感・景観 (天井高) 2 リフレッシュスペース 3 内装計画 維持管理 1 維持管理に配慮した設計 2 維持管理用機能の確保 生・信頼性 耐震・免震・制震・制振 1 耐震性(建物のこわれにくさ) 2 免震・制震・制振性能 部品・部材の耐用年数 1 駆体材料の耐用年数 2 外壁仕上げ材の補修必要間隔 3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	●とも	C(独自加点) D(独自基準)		3.0 1.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 4.0	1.00 0.30 - 1.00 0.30 0.50 0.50 0.50 0.80 0.20 0.20 0.20 0.10	3.0 3.0 2.0 3.0 1.0	- 1.00 - 0.40 0.50 - 0.50 - -	3.0

3CASBEEkyoto-NC_2018 スコア

_										
	2.4 信	頁性				2.6	0.20			
		2調・換気設備				3.0	0.20	-	-	
		2 給排水・衛生設備				2.0	0.20		-	l
		電気設備				3.0	0.20		-	1
		4 機械・配管支持方法				3.0	0.20		-	
		5 通信·情報設備				2.0	0.20	-	-	
3	対応性・引					3.0	0.30	2.2	1.00	2.3
	3.1 空	間のゆとり				•	-	2.4	0.50	
		1 階高のゆとり					-	2.0	0.60	l
		空間の形状・自由さ	●大切	A(全国版準用)			-	3.0	0.40	
	3.2 荷	重のゆとり					-	2.0	0.50	
	3.3 設	備の更新性				3.0	1.00		-	
		1 空調配管の更新性	●大切	A(全国版準用)		3.0	0.20		_	
		2 給排水管の更新性		A(全国版準用)		3.0	0.20		_	l
		3 電気配線の更新性		A(全国版準用)		3.0	0.10		_	
		4 通信配線の更新性		A(全国版準用)		3.0	0.10			
		5 設備機器の更新性		A(全国版华用)		3.0	0.10		-	l
			- A	A(王国版华用)		3.0	0.20		-	
-		バックアップスペースの確保				3.0			-	0.0
		[(敷地内)				-	0.30	-	-	3.2
_ 1	生物環境	の保全と創出	€ઽક	A'(全国版準用)	***************************************	3.0	0.30	-	-	3.0
2	まちなみ・	景観への配慮	0	C(独自加点) D(独自基準)	美観地区である	4.0	0.40	-	-	4.0
3	地域性-7	アメニティへの配慮		- (四日坐干/		2.5	0.30		-	2.5
,			●とも,	A' (ARE#E)						,
		域性への配慮, 快適性の向上	自然	A'(全国版準用)		3.0	0.50		-	
		地内温熱環境の向上	● とも	A(全国版準用)		2.0	0.50	•	-	
		の環境負荷低減性							-	3.4
LR1	エネルギ					_	0.40	-	-	3.6
		の熱負荷抑制				3.0	0.20		-	3.0
		ルギー利用	●自鉄	A(全国版準用)		3.0	0.10		-	3.0
		テムの高効率化	●自然		[BEI][BEIm] = 0.89	4.2	0.10		-	4.2
	効率的運		→ E Mit	- (海白加州)	LOCALING C.CO	3.0	0.20			3.0
		΄' 合住宅以外の評価				3.0	-		-	0.0
		日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日					-	, ,		
		.1 モータリンク .2 運用管理体制								
		- 注 建				3.0	1.00			
		日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日				3.0	0.50		-	
		.1 モーメリング .2 運用管理体制					0.50		-	
LDC						3.0			_	3.2
	資源・マー					-	0.30	-	-	
1	水資源保		ļ			3.0	0.20	•	-	3.0
	1.1 節:					3.0	0.40		-	
	1.2 雨	水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-	1
		1 雨水利用システム導入の有無	●自然	A(全国版準用)		3.0	0.70		-	l
_		2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.30	-	-	
2	非冉生性	資源の使用量削減		口(#烟中雪)		3.5	0.60	•	-	3.5
	2.1 材	料使用量の削減	●大切	B(推奨内容) D(独自基準)		2.0	0.10	-	-	1
	2.2 既	存建築躯体等の継続使用		- (MUE-)		3.0	0.20		_	1
		本材料におけるリサイクル材の使用	●大切	B(推奨内容)		3.0	0.20			
	2.3 %	本材料におけるグライグル材の使用	● 人切	D(独自基準)		3.0	0.20		-	1
	2.4 躯体	本材料以外におけるリサイクル材の使用	●大切	A'(全国版準用) B(推奨内容)	外装タイル(主体部分)、磁器質タイル(バルコニー)、地域産木材(居室天井下地)	5.0	0.20		-	1
	0 E +±+	続可能な森林から産出された木材				3.0	0.10			
			日孫	D(独自基準)					-	1
		材の再利用可能性向上への取組み	●大切	A(全国版準用)	PB+LGS、外壁側GL工法	4.0	0.20		-	
3	1 2 - 1 - 10	含有材料の使用回避				2.6	0.20		-	2.6
		害物質を含まない材料の使用				3.0	0.30	•	-	
		コン・ハロンの回避				2.5	0.70	-	-	
		1 消火剤				-	-	-	-	
		2 発泡剤(断熱材等)				2.0	0.50		-	
		3 冷媒				3.0	0.50	-	-	
LR3	敷地外珠	境				-	0.30	-	-	3.3
- 1	地球温暖	化への配慮			ライフサイクルCO2排出率77%	3.9	0.33		-	3.9
2	地域環境	への配慮				3.0	0.33		-	3.0
		気汚染防止				3.0	0.25	-	-	
		熱環境悪化の改善	⊕Łŧ	A(全国版準用)		3.0	0.50	-	-	
		域インフラへの負荷抑制				3.2	0.25		-	
		1 雨水排水負荷低減				3.0	0.25	.	-	
		2 汚水処理負荷抑制				3.0	0.25	-	-	
		3 交通負荷抑制			駐輪場・駐車場・サービス用駐車場の確保、出入口は交差点付近を避けている	5.0	0.25	-	-	
		4 廃棄物処理負荷抑制				2.0	0.25	-	-	
3	周辺環境					3.0	0.33		-	3.0
	3.1 騒	音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-	
		1 騒音				3.0	1.00	-	-	
		2 振動				-	-		-	
		3 悪臭					-	-	-	
	3.2 風	害・砂塵・日照阻害の抑制				3.0	0.40		-	
		1 風害の抑制				3.0	0.70	-	-	
		2 砂塵の抑制					-	-		
		3 日照阻害の抑制				3.0	0.30	-	-	
	3.3 光	害の抑制				3.0	0.20		-	
		屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				3.0	0.70		-	
		2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	●とも	B(推奨内容)		3.0	0.30		-	
		記号凡例 ●:重点項目 〇:低炭素景観	a del cicio de	7-50	重点項目キーワード凡例 「大切」: 大切に使う 「とも」ともに修	- F		-/7		

	計画上の配慮事項
総合	周辺はビジネス街として発展しており、多くの人が行き交う地域である。周辺地域に調和して、暮らしやすい住環境を形成できるような計画となっている。
Q1 室内環境	開口部や界壁、界床は遮音性能が高く、騒音や衝撃を防ぐことができる。F☆☆☆☆ の建材を使用、また開閉可能な窓が十分に設けられており、室内の空気を健全に保つ ことができるよう配慮している。
Q2 サービス性能	耐用年数の長い仕上げ材、空調・給排水配管を使用している。また、構造躯体の劣化 を軽減する対策が講じられており、建物の長寿化を図っている。
Q3 室外環境(敷地内)	地域の生態系に悪影響を及ぼす外来種を使用しておらず、適切な対策を行っている。 敷地周囲には目隠しフェンスやメッシュフェンスを設置して、防犯性を高めている。
LR1 エネルギー	LED照明により、設備システムの高効率化を図っている。
LR2 資源・マテリアル	リサイクル材(躯体材料以外)を使用して、環境配慮に努めている。躯体と仕上げ材は容易に分別可能であり、解体時におけるリサイクルを促進する対策が取られている。
LR3 敷地外環境	自転車置場や駐車場を確保しており、建物の運用時に交通負荷が発生しないよう取 組みを行っている。
その他	特になし